

## 3. 視察研修 2019.10.23～10.25

## ① 北海道 帯広市

デマンド交通あいのりバス・あいのりタクシー運行事業について

- H13年に策定された、「帯広市バス交通活性化基本計画」により、市・バス事業者・市民・利用者・学識経験者・関係機関による検討委員会が立ち上げられ、1年間の検討の後に事業が開始されたと言う事で、こうした事業は一朝一夕に行えるものではないと痛感した。
- この事業により、高齢者の外出率が向上したということを知り、矢板市における市バスの運行においても大いに参考になる点があった。

## ② 北海道 由仁町

移住・定住促進事業について

- 由仁町移住交流支援センターが、運営を受託して、相談からサポートまで、ワンストップで対応していることは、相談者にとっては優しく便利なサービスであると感じた。
- 住宅情報サイト「ゆに住まい Navi」を通じて、町内の空き家・空き地・アパートなど住まいの情報を配信していることは、画期的だと感じた。
  - ◆ 体験交流事業
  - ◆ 宿泊施設運営事業
  - ◆ 起業支援・人材育成事業等、ユニライズの取り組みのキーワードを「人」と定義し、様々な施策を実施していることは参考になった。

## ③ 北海道 長沼町

「ミサワホームグループとのまちづくり包括連携協定」について

- さまざまな取組の状況と成果について、説明を受けたが、是非矢板市においても取り入れていきたい取り組みがあると感じた。
- 個別事業の課題として、公民連携に活路を求める町民が増えると思込まれることから、的確に把握しスムーズにミサワホームとの協議の場に挙げていくことが重要とされていたが、まずは公民連携してこうした事業が展開されていることに驚きを感じた。